



「造園建設業協会を代表して頂いたもの。受章に重い責任を感じる」と謙虚に喜びを語る。

大学を卒業後、東京の造園会社に就職し、3年間の修行を経て家業を継いだ。協会では要職を歴任し、2015年から会長職を3期6年務める。

協会では会員の活性化と、業界の社会的地位向上に貢献。モデル庭を製作展示し一般の希望者の土地に移設する「お庭拠ト」、緑や環境問題等の啓発として全国から想いを寄せてもらい表彰する「みどりの文」など、多

## 業界の地位向上に貢献

黄綬褒章受章



もろい 道雄氏 (70歳)

くの公益的事業のスタートに携わり、定着させながら担い手不足の解消に心を砕く。

東日本大震災により造園関連の仕事も減少したが「担い手の技術や技能は除染やがれき撤去等の作業に生かせる」と復興事業に尽力。現在も「緑の再生無くして福島の復興に終わりは無い」と社会的な造園業の重要性をPRする。

1952年6月生まれ、南相馬市原町区出身。県立原町高校、東京農業大学造園学科卒。2010年から諸井緑樹園の4代目社長に就任。日

働き方改革にも熱心に取り組む。自社において「仕事と生活の調和」推進企業や、「子育て応援」中小企業の認証を受けるほか、イクボスやベビーファーストを宣言し、働賞などを楽しむ。(堀江)